

大きな文字でわかりやすい

Q&A

学校教育とジェンダー
ハンドブック

井上剛照著

はじめに

教育(理論)というと何か小難しいイメージがあり、実際主だった教育(理論)書を手にとって見るとやはりわかりにくい。教育は正論を言うてくるだけに、読み手の人々は皆、引き下がってしまう。この『大きな文字でわかりやすい Q&A 学校教育とジェンダーハンドブック』はその点、一問一答方式で、またできる限りわかりやすい表現で記載をした。大学生、大学院生、現職教員の方々を対象に書いたが、一般の方々も読んで損のない著書だと思っている。この本で少しでも教育(理論)というものが人々に身近に親しみやすくなって頂ければ幸いである。

2006 年 6 月

井上剛照

Q：学級内のクラス委員長の決定において
男女格差はどのような形でありますか？

A：クラス委員長を決める際にジェンダー
＝バイアスがかなり出てくること
があります。よくある偏見的な考え方として
男子生徒は何となく原理・原則を重視し、
リーダーシップがある様で、女子生徒は
愛や寛容を重視し、男子についていく様
な能力があるのではないかと信じてい
るケースが多い様です。男子は『長』で、
女子は『副』といった潜在的なレッテル
も貼られているのではないでしょう
か？女子生徒が『長』で何が悪いのでし
ょうか？この様な偏見を打開していく
ためにもまずは男子生徒・女子生徒一人
ずつ平等にクラス委員長を出したりす
ることもよいと思われます。男女共学の
場合、一概には言えませんが、女子がリ

ーダーシップをとってクラスを動かした方が上手くいくケースが多い感じですか。

Q：学級の出席番号における男女格差はどのような形でありますか？

A：私が小さい頃は男子は男子、女子は女子で 50 音順で並ぶ出席番号でしたが、ここ 10 年弱くらいにおいては男女混合の出席番号が定着してきた様です。男女別々の出席番号ですと役割が男、女で固定化していく可能性があります。男女間の交流も減少してしまうのではないのでしょうか？昔はそれに男がたいてい先に 50 音順で並んで、その後に女子がきていましたので、差別もよいところだったと思います。

Q：学級内に『くん』『さん』という呼び方で、男女格差はどのような形でありますか？

A：これも男子は『くん』、女子は『さん』と呼ぶことがあたり前の様になっていますが、これを逆さまにしたら何となく違和感が出てくるのではないのでしょうか？これはもう学校だけではなく家庭や地域でも通例この様なものになっていますが、これもやはり偏見ですね。くんは『君』、『君子』の君ですね。女子よりも男子の方が上を行っている、何か尊敬の対象だと言っている点が見えてきます。やはり差別です。どちらも『さん』だったら無難かもしれません。

Q：生徒に対する怒り方（指導の仕方）で男女の格差はどのような形でありますか？

か？

A：学校の教員は男子生徒に対しての怒り方（指導の仕方）がどちらかというときついですね。女子生徒に対してはそれほどきつくは言わない感じです。よいことをすればしっかり褒めて、悪いことをすれば厳しく叱る。あたり前のことなのですが、教員の心のどこかに男子生徒は男らしい気質が内在しているから、女子生徒は女らしい気質が内在しているから怒り方に格差をつけていたりするのではないのでしょうか？

Q：進路指導における男女の格差はどのような形でありますか？

A：もう生徒の方もこの時になると社会的に男らしい、女らしい進路みたいなものを感じ、自分で舵取りをしていくケース

が多い様です。おかしいものですが、教員の方も高等学校の場合でしたら、女子が進路の考えに行き詰まった場合、即座に『看護師になったら?』といった様な発言を飛ばしていくことが多い感じです。教員側もジェンダーという点をもう少し心の中に取り入れ、考え直していった方がよいのではないのでしょうか?

Q: 学校のカバン(ランドセル)において男女の格差はどのような形でありますか?

A: 小学校のランドセルは男子生徒が『黒』で、女子生徒が『赤』といった定番みたいなものになってしまっています。おまけにシューズ入れの袋や書道用具入れなども男子は『青』とか女子だったら『オレンジ』とか『赤』とかいった色を大人が勝手に決めてしまっています。偏見も

よいところだと思いますが、この様に幼い頃から刷り込みみたいな形でやっていくのは考えものではないでしょうか？

Q：学校の頭髪や服装で男女の格差はどのような形でありますか？

A：男子生徒の頭髪は短く、女子生徒も肩くらいまでとか、学校により多くは規定（ライン）を決めていますが、男子生徒が女子生徒くらいの長さにしても本当はよいはずですし、これも差別っぽいのではないのでしょうか？

服装にしても昨今は特に私立学校を中心にブレザーの制服が多くなってきましたが、男子が『詰襟』で、女子は『セーラー服』、何となくこの様な感覚が今でもありませんか？本当はそれが逆で

もよいはずなのですが。大人たちの心のどこかに男子生徒は男らしく、女子生徒は女らしく育て欲しいという願望が強くなるのではないのでしょうか？社会的な男女差別が進んでいってしまう一因だと思います。

Q：選択科目で男女の格差はどのような形でありますか？

A：男子生徒は技術工作、女子生徒は家庭科をする、これありますね。男子は外で働いて技術を駆使して『モノ』をつくっていく。女子は大きくなったら家庭に入って専業主婦で子育てをしながら家庭を守っていく。もう小学校くらいからありますね、これも。男子生徒も昨今は家庭科をやる様になっていますが（あたり前）、これも大人たちの心の奥底には男

子生徒はモノづくりが先天的に上手で、女子は先天的に裁縫や料理が上手いのだという考え方がありますか？もしこの様な紛囲気が学校内に少しでもあれば、何とか少しずつでもこの意識を教員が率先してなくしていかなければなりません。

Q：体育の授業で男女の格差はどのような形でありますか？

A：どうもこれも各学校である感じですね。なぜ男女別に分けるのか？というと男子が体力があり、女子は体力が劣っているという点から？これも偏見ですね。男子生徒でも体力がある生徒から乏しい生徒まで度合いのばらつきがあるでしょうし、女子生徒でも同様に体力差のばらつきがあると思います。もしどうして

も分けるのでしたら男女混合で体力別
でもやってもよい気はしますが。

Q：学校の教員の組織内のポストにおける
男女の格差はどのような形であります
か？

A：校長・教頭などの管理職は圧倒的に男
性が多く、小学校においては女性の管理
職は数パーセントに過ぎません。公務分
掌における生活指導や教務といった重
要ポストも責任者は多くは男性となっ
てしまっています。

また大学や高等学校の教員は男性が
多く、小学校や幼稚園の教員は女性が多
いといったこともジェンダーが存在し
ていると考えられます。少しずつでも是
正の方向に進めていく必要があります。

Q：教科における男女の格差はどのような形でありますか？

A：国語や家庭科といった教科は女性が数学や理科といった教科は男性が多い状況です。その姿を見た生徒たちは女性は文科系に向くのだなと男性は理科系に向くのだな。モデリングを始めていってしまう可能性が高くあります。ジェンダーの原因がここにもあります。

Q：クラブ活動における男女の格差はどのような形でありますか？

A：確かに男子は男子、女子は女子のクラブ活動の好みがあるかもしれませんが、男子生徒は野球部やサッカー部、女子生徒はテニス部や園芸部へと動き（動かされてしまい）、男子は選手に女子はマネージャーにならされてしまうといった

慣習が学校内において根付いてしまっている面があります。

Q：教科書（国語）の内容について男女の格差はどのような形でありますか？

A：国語の教科書の中で登場をしてくるのは大半が男性です。男性の主人公は勇敢に戦ったり、人々を助けていたりするシーンが多く、女性はそれについていく様なスタイルのものが多いいえます。

Q：教科書（社会）の内容について男女の格差はどのような形でありますか？

A：社会の特に歴史などでは男性が中心であり、女性是从属的な形になっています。今までの社会をつくってきたのは男性であるという錯覚をつくり、ジェンダーの再生産へと進む大きな要因になって

います。

Q：卒業式における男女の格差はどのような形でありますか？

A：卒業式の壇上で祝辞を読むのは男性の校長先生で、卒業証書を手渡すときに補助をするのは女性の先生で、来賓代表で祝辞を述べる PTA 会長は男性で、卒業生代表で答辞を述べるのは男子生徒といった様に卒業式全体、男性が主人公で女性はどちらかというと脇役のスタイルが固定化されてしまっています。

Q：大学進学率における男女の格差はどのような形でありますか？

A：1990 年代に入って女性の大学進学率が上昇をしてきていますが、それでも男性は 47.8%、女性は 34.4%です。期待

の観点からも親が男子には大学以上の学歴を期待している者が 66.9%、女子に対して大学以上の学歴を期待している者の方は 44.7%と女子には男子に比べて学問はそれほど必要にないといった考えがはびこっている可能性があります。

Q：文科系・理科系の選択において、男女の格差はどのような形でありますか？

A：世間には『女子は数学が苦手』『女子は理科系に向かない』といった潜在的な偏見があります。小学校・中学校・高等学校を通してその様な社会的環境の中で女子は自分は理科系ではなく文科系に能力があると思い込むケースも多々あります。仮にその女子生徒が理科系に関心を持っていたとしても周囲の眼を

感じてしまって文科系の方向に進路をとっていってしまうケースも少なからずあります。実際、女子生徒の理科系進学者は 13%ほどに過ぎません。

Q: 英語や国語の文章の中で男女の格差はどのような形でありますか？

A: 英語では例えば中学 1 年生の教科書で **Ben and Lucy**～という書き出し文があったり、国語では小学校の教科書で太郎君と花子さんは～という書き出し分になっていたり、男女がそれぞれ登場をする場合、まず間違いなく男性の方が先に記述されています。これも男性の方が『上』で女性の方が『下』であるといった潜在的な意識の現れであることは間違いのないと思われます。

Q：学校の生徒会長において男女の格差はどの様な形でありますか？

A：昨今、生徒会長は女子生徒が増えつつあると言われていますが、それでもなお男子生徒が生徒会長になるといったケースが多いのではないかと思います。本能的に男子がリーダーシップがあるのかどうか？また仮にそうだとした場合、またリーダーシップが乏しくても人の心を大切にする暖かい心の生徒が生徒会長になってはよくないでしょうか？男子が支配的で、女子が従属的な力関係が存在している面がありませんか？

Q：浪人に対する男女の格差はどの様な形でありますか？

A：男子が浪人をする、世間一般的にまあ1年くらいの浪人は認めるか？とい

う風潮もありますが、女子が浪人をする
ことになる、『女なのになぜその様に無
理してまで進学をするのか?』『女が浪
人をするとう傷がつく』といったことなど、
かなり男子生徒とは異にする偏見的な
意見が近所から親戚から噴出をしてき
ます。日本の醜い男女差別が進学や就職
などのことになってくると猛威を振る
ってくるものです。

Q:文化祭において男女の格差はどの様な
形でありますか?

A:仮に演劇をやる場合、男子生徒は俗に
いう男らしい配役で男らしい衣装をす
ることが多く、女子生徒は俗にいう女ら
しい配役で女らしい衣装をすることが
多いものです。劇の司会・アナウンスは
女子生徒で、宣伝の張り紙などをする力

仕事は男子生徒と男女で型にはまった役割分担になってしまっているケースが多いものです。

Q：学校のジェンダー問題は全般的にどのような形でしょうか？

A：どうも現行の学校教育そのものがジェンダーを助長させていつてしまっている感じがします。これからは同性愛者や性同一性障害の生徒が多くなってくると思います。生徒一人ひとりが自分らしく個性を発揮できる様な学校教育をつくっていくべきではないでしょうか？また教育も学校だけが突出してはよくないと思います。家庭も地域も連携をする必要があるのではないのでしょうか？この三者の三位一体とよく言われますが、少しだけつながっていればよい

と思います。三者とも性質は違うもので
すし、いざというときにタッグを組んで
生徒を援護できる体制を敷いておくこ
とがよいのではないかと思います。また
日本は集団主義が強いので連携と
言いますとすぐに一致団結的なイメー
ジを持ちやすいですが、違いを理解して
おき、つながるところはつながっておき、
つながらなくてもよいところはつなが
らない。これでよいと思います。そして
日本はあまり大きな変化を好まない保
守的な国です。現在のジェンダーの悪い
点をスモールステップでよいので、少し
ずつ解消をしていき、生徒一人ひとりが
生き生きと笑顔で学校生活が送れる様、
教員をはじめ生徒を取り巻く大人たち
は協力をしていくべきでしょう。

☆ジェンダーを理解するための 基本的な用語

Q: ジェンダーとはどのようなことですか？

A: 『男らしさ』『女らしさ』など、社会的・文化的につくられた性差のことです。

Q: ジェンダー論とはどのようなことですか？

A: 男・女の社会的・文化的役割を考えていくことです。

Q: ジェンダー＝アイデンティティーとはどのようなことですか？

A: 自分の性役割行動を求めていこうとする意識のことです。

Q: ジェンダー＝バイアスとはどのようなことですか？

A：社会のしくみや行動様式など社会のいたるところに存在する非対称的な形で男・女の差異がつくられているジェンダーに関わる偏見（偏り）のことです。

Q：セクシャル＝ハラスメントとはどのようなことですか？

A：学校や職場などで起こる性的な嫌がらせのことです。

Q：エンパワーメントとはどのようなことですか？

A：女性が政治・経済・文化などあらゆる分野で自分の意思で決定し、行動ができる能力を身に付けていくことです。

Q：ポジティブ＝アクション（アファーマーティブ＝アクション）とはどのようなこ

とですか？

A: 現在、不利益を被っている人たち(集団)に対して一定期間、一定の範疇で特別な援助を施し格差を是正していくことです。

Q: 性同一性障害とはどのようなことですか？

A: 体の性と性別の性の違いにより当事者が苦しんでいる状態のことです。

Q: ドメスティック＝バイオレンス (DV) とは様なことですか？

A: 夫から妻に対しての精神的・肉体的な暴力のことです。

Q: 改正 DV 法(2004)とはどのようなことですか？

A：夫が妻に危害を加える危険性がある場合、接近禁止命令や家に入れさせない退去命令などを行うことができる法令のことです。

Q：男女共同参画とはどのようなことですか？

A：家庭内においては男も女も協力して家事を行い、介護を行い、育児をしていくことをはじめ、男女お互いに政治的・経済的・社会的に利益を生みだしていき、責任も持っていく社会のことです。

Q：女性の全般的な労働はどのようなものですか？

A：女性は正社員が少なく、パートなどが40%以上に上っています。その様な点から不況になると景気(変動)の調節弁

になりやすいのではないかとと思われます。

Q: M字カーブとはどのようなことですか？

A: 女性は20歳で就職、30歳前後で離職、
また40歳くらいで再就職へと動くこと
を表す曲線のことです。

Q: 国際・人口開発会議(1994)とはどのようなことですか？

A: エジプトのカイロにおいて、子どもを
出産するしないは女性が自己決定して
いくことなどを含むリプロダクティブ
／ヘルス／ライツを核とする女性の地
位向上が謳われていった会議のことです。

Q : 国連女性特別総会(2000)とはどのようなことですか？

A : 国連において女性の地位向上を進めるために先進国の GNP の 0.7% を途上国へ ODA として出すこととし、政治・教育・健康の男女平等をめざしていくことを決めていった会議のことです。

Q : 改正・育児介護休業法(2005)とはどのようなことですか？

A : 育児のために 1 年(特別な場合、1.5 年休業できる。男女どちらが取得をしてもよい)、介護のために 3 ヶ月休業できる(1 人に付き 1 回)ことを内容とした法令のことを言います。

Q : 男女雇用機会均等法(1997)とはどのようなことですか？

A：企業の募集・採用・給与・昇進を男女
平等に指定校という法令のことを言い
ますが、罰則規定はありませんでした。

Q：男女雇用機会均等整備法(1999)とはど
の様なことですか？

A：男女雇用機会均等法(1997)をつくりな
おし、セクシャル=ハラスメントの防止、
違反企業はマスコミに掲載することな
どを盛り込んだ法令のことです。

Q：クォータ制度とはどの様なことす
か？

A：ある組織において女性の比率をあらか
じめつくっておくことです。

Q：政治のクォータ制度とはどの様なこと
ですか？

A：政党や議会において女性の枠数をあらかじめつくっておくことです。

Q：人間開発指数（HDI）とはどのようなことですか？

A：国民所得、教育水準などを核として人間の基本的な能力が平均的にどのくらい伸びたかを表した数値のことです。

Q：ジェンダー開発指数（GDI）とはどのようなことですか？

A：国民所得、教育水準などを核として男と女の間における達成度の違いを表した数値のことです。

Q：ジェンダー＝エンパワーメント（GEM）とはどのようなことですか？

A：HDI や GDI の能力を使用して、女性

が政治や経済に積極的に参加をし、意思決定をしていっているか？について焦点を充てて出された数値のことで、具体的には女性が大企業の管理職や国会議員などにどのくらいの割合でなっているかを表した数値のことです。

Q：リーガル＝リテラシーとはどのようなことですか？

A：法や制度の内容を知り、それを使用して権利を行使していく能力のことです。

Q：メディア＝リテラシーとはどのようなことですか？

A：情報機器などを使用しての読み書き能力のことです。

Q：少子化が進む原因はどのようなことでし

ょうか？

A：女性の高学歴化や住宅事情など様々な原因が考えられますが、やはり女性の子育てのコストの問題が一番大きいのではないのでしょうか？

Q：ジェンダーフリーとはどのようなことですか？

A：ジェンダーに基づく考え方をなくしてき、一人ひとりがよりよい社会生活を過ごしていくことができる様にしていくことです。

Q：ウーマン＝リブとはどのようなことですか？

A：女性が持っている様々な問題を解決していこうという運動のことです。

Q：メンズ＝リブとはどのようなことですか？

A：男性が持つ様々な問題を解決していこうという運動のことです。

Q：クイア理論とはどのようなことですか？

A：同性愛を明確に具現化させることにより、異性愛の社会的・文化的な偏りというものを明確にしていこうという理論のことです。

Q：インターセックスとはどのようなことですか？

A：精巣と卵巣の両方を持つ人などの様に男とも女とも言えない性のことです。

Q：トランス＝ジェンダーとはどのようなことですか？

A：自分の性と社会的役割の間に違和感を持つ人のことです。

Q：内面化とはどのようなことですか？

A：社会の慣習を受けて自身についてしまっているものに対してこれは自らの心の奥底から能動的に出てきたものと信じ込んでしまうことです。

Q：隠れたカリキュラムとはどのようなことですか？

A：正規の授業とは別に学校内で潜在的に学んでいく規範のことなどを言います。学校行事での男女の役割は男らしさ女らしさを教えていくことになり、学校の管理職の男の多さは男の優位性を教えていくことにつながるといったことなどのことです。

Q：ガラスの天井とはどのようなことですか？

A：女性が子どもを持っていれば潜在的に労働力が低いとみなされ、昇進にストップが掛かっていく様な 目に見えにくい障壁のことです。

Q：コンシャスネス＝レイジングとはどのようなことですか？

A：1960年代アメリカで始まったもので、少人数のグループが幼少の頃の抑圧された体験などを語り合い、その過去に体験したものは社会的な圧力により具現化されたものだ と認識させ、自分の意識を変化させていくことです。

Q：性別役割分業意識とはどのようなことですか？

A：男性は外で働き、女性は家庭で育児をすることがあたり前だと信じこんでしまっている考え方のことです。

Q：事実婚とはどのようなことですか？

A：お互いに夫婦であると認め合っていないものの婚姻届は出していない夫婦のことです。

Q：ジェンダー＝ステレオタイプとはどのようなことですか？

A：男女の社会的役割の考え方が固定化してしまっていることです。

Q：総合職と一般職について男女の格差はどのような形でありますか？

A：総合職は管理職になる道がつながっていますが、転勤を強いられます。しかし

一般職の方は管理職にはほとんどなれませんが、転勤はありません。その様な点から女性は一般職で採用というケースが多くなり実質的にジェンダーが進んでいてしまっています。

Q：貧困の女性化とはどのようなことですか？

A：世界各国の女性に対して大きな負荷を与えてしまっていることです。

Q：性の二重基準とはどのようなことですか？

A：男性は能動的であり門限もあつたりしますが、女性は受動的で門限があつたりと男性、女性で性に関する規範が違うことです。

Q： ロマンティック＝ラブ＝イデオロギ
ーとはどのようなことですか？

A： 恋愛からつながった結婚だけを正しい
ものとみなし、性的な関係も結婚生活の
中だけで行われるものであるという考
え方のことです。

Q： アンペインド＝ワークとはどのようなこ
とですか？

A： 家事労働など賃金報酬のない労働のこ
とです。現在、家事も労働であり GDP
や GNP に入れようという動きもありま
す。

Q： 母性神話とはどのような様ことですか？

A： 女性には子どもを愛していくという本
能が元々備わっているという考え方の
ことです。

Q: ホモ＝ソーシャルとはどのようなことですか？

A: E. K. セジウィックが指摘したもので、家父長制の中で女性を男性の交換物として扱うことにより男性同士が社会的関係を強めていこうとしていることです。

Q: セックス＝ワークとはどのようなことですか？

A: 性産業で働くことです。セックス＝ワークの中心は女性になってしまっています。

Q: セクシュアルティ＝スタディーズとはどのようなことですか？

A: 1970 年代アメリカで始まったもので性に関する考え方を社会状況と関連さ

せながら学んでいくことです。

Q：摂食障害とはどのようなことですか？

A：10代前半から20代前半の女性によく見受けられるもので、社会が好む女性的なスタイルになりたいというボディイメージも影響し、極端に食事を摂取しなくなったり、逆に極端に食事を摂取するようになることです。参考までに体型が普通領域の女子高校生の85%までが自分は痩せたいと思っている報告があります。自分の体質に合った体型というものがない健康的でよいのではないのでしょうか？

Q：母体保護法とはどのようなことですか？

A：以前は優生保護法と言い、母体を保護するために人工妊娠中絶を行ってもよ

いという法令のことです。

Q：クローゼットとはどのようなことですか？

A：自分の性的感情を心の中に留めておくことです。

Q：セクソロジーとはどのようなことですか？

A：性に関する問題をノーマルかアブノーマルか？で判断し、アブノーマルの場合、原因を追求し考えていくことです。

Q：同性愛とはどのようなことですか？

A：同性に対して愛情を持つことを言います。現在の社会状況ではアブノーマルとの位置づけが強い国が多いのが現状です。

Q：性感染症とはどのようなことですか？

A：性交により他の人に感染をしていってしまう病気のことです。

Q：性暴力とはどのようなことですか？

A：性的な行為により精神的・肉体的に苦痛を受けることです。

Q：トランス＝セクシュアリズムとはどのようなことですか？

A：現在の自分の性役割に強い違和感を持ち、本来は逆の性であるべきであると自分自身で苦悩することです。

Q：性別再指定手術（SRS）とはどのようなことですか？

A：性転換手術のことです。このことに対してでも否定的に見る国が多いのが現状

です。

Q：家父長制とはどのようなことですか？

A：家の中心は男性で、それに従うのは女性であると固定化されてしまった制度のことです。これが日本のジェンダーの大きな原因の一つであると言われていきます。

Q：ヘテロセクシズムとはどのようなことですか？

A：異性愛がノーマル的なものであると考えていくことです。この考え方の背後には女性は男性の従属物であるといった考えがあります。

引用・参考文献

『AERA Mook ジェンダーがわかる』

朝日新聞社 2002

『ジェンダーで学ぶ教育』

天野正子・木村涼子編 世界思想社 2003

『図解雑学ジェンダー』 加藤秀一・石田仁・

海老原暁子 ナツメ社 2005

『書いて考えるジェンダー・スタディーズ』

小平麻衣子・氷見直子著 新水社 2006

< 著者略歴 >

井上剛照

1964 年生まれ。岡山大学大学院医歯薬学総合研究科博士課程在学中。広島・如水館高等学校社会科教諭

『シグマベスト高校要点試験に強い現代社会ハンドブック』

文英堂(2004.7)

『難関大・センター試験への登竜門～最新センター試験・国公立二次試験・難関私立大 最速・最短距離版～政治経済・倫理・現代社会』(2003.4)

『どこからでも読めてすぐに役立つ 204 語録集ホームルーム指導・進路指導・クラブ活動指導』(2003.4)

『Q & A 教育臨床ハンドブック』(2006.5)

『Q & A 発達心理ハンドブック』(2006.5)

『Q & A 学習心理ハンドブック』(2006.5)